

Global30 Project Follow-up FY 2012

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 2012年度 フォローアップ

慶應義塾大学
国際センター所長
友岡 賛



【目次】

1. 事業の概要と成果

- ① 英語で学位取得可能な学部・研究科のコース、DDなどの国際的教育プログラムの新設・拡充
- ② 学内の国際化基盤整備
- ③ 優秀な留学生獲得のための国際広報の強化

2. G30以外の国際的な取組み

3. 今後の課題と展望

4. 経費の使用状況

5. データ編：慶應義塾の国際化の状況

1. 事業の概要

① 英語で学位取得可能な学部・研究科のコースや、ダブル・ディグリーなどの国際的教育プログラムの新設・拡充

- 2009年度 Sciences Po-Keio ダブル・ディグリー・プログラム(経済学研究科)
- 2010年度 System Design and Management Course(システムデザイン・マネジメント研究科)
- 2011年度 GIGA(Global Information and Communication Technology and Governance Academic)プログラム(環境情報学部)

② 学内の国際化基盤整備

- 学内文書、システム等の英語化の推進
- 国際業務に対応し得る職員の養成

③ 優秀な留学生獲得のための国際広報

- 留学フェアの主催、参加
- グローバルに活躍する本学の卒業生や留学生、留学希望者のためのプラットフォームとして、ウェブサイト、データベース、Facebookによる複合的コミュニケーションサイト、「Keio Global」を開設

英語で学位取得可能な学部・研究科のコース



環境情報学部	Global Information and Communication Technology and Governance Academic (GIGA) Program	B
経済学研究科	Sciences Po-Keio Double Masters Degree in Economics Program	M
商学研究科	Joint Japan/World Bank Graduate Scholarship Program in Taxation Policy and Management	M
理工学研究科	International Graduate Programs on Advanced Science & Technology	M/D
政策・メディア研究科	International Advanced Degrees Program	M
システムデザイン・マネジメント研究科	System Design and Management Course	M/D
メディアデザイン研究科	Media Design	M/D

※青い文字がG30事業により新たに設置した英語のコース

環境情報学部 GIGAプログラム

- ICT (Information and Communication Technology) 分野の創造的能力とガバナンス能力の修得を目指す学部プログラム。GIGAはGlobal Information and Communication Technology and Governance Academicの略
- 社会が直面しているグローバルな問題に対して、課題発見を行ない、その解決策を地球規模で実践できる、知的コミュニケーションおよびコラボレーション能力に優れた人材を育成
- カリキュラムは、講義形式の授業に加え、学生が能動的に参加するICT関連プロジェクトやガバナンスプロジェクト、海外フィールドワークやインターンシップなどを中心に構成
- 留学生には、日本の文化や社会を理解し、ひいては日本での就職の機会を増やすために、日本語を学ぶ授業も用意、授業も日本人学生と共に受講可能
- 学部内の教員の発案により、研究会としてOnigiri Projectを立ち上げ、日本人学生と留学生が共に日本文化、歴史を研究。また、同研究会を中心に、留学生と日本人学生の交流が進んでいる。常時20名を超える学生が活動



GIGAプログラム一期生

GIGAサティフィケート要件科目履修者数

■ GIGAサティフィケート要件科目数

2011年秋学期： 17科目

2012年春学期： 37科目 / 2012年秋学期： 21科目

■ 1学期中の履修者数が多い順に一部を紹介

(GIGA生とSFC生の合計数)

世界の中の日本としてのIT政策と技術	219名
芸術と科学	157名
Creativity in Internet Age	54名
インターネット	51名
プレゼンテーション技法	45名
現代政治論	35名
イノベーションダイナミクス	35名
環境情報学の創造	30名
総合政策学の創造	26名

GIGAプログラム一期生の声



「大学進学にあたっては、イギリス、カナダ、日本のいずれかに留学したいと考えていました。日本に興味があり、日本語での会話にも自信を持っていたのですが、専門的な授業を日本語で受けて学ぶことには不安がありました。そんなときに母がインターネットで調べて紹介してくれたのがGIGAプログラムです。」

「もともと環境問題に関心があり、将来は環境コンサルティングの仕事をしたいと思っています。SFCではさまざまな分野について広く学ぶことができるので、経済や数学など、いろいろなことを環境と組み合わせて学び、それにICTを融合させて学びたいと思っています。」



GIGA Program映像
<http://ic.sfc.keio.ac.jp/about-sfc/why-sfc/>



“Campus life at SFC”



“Discover SFC's Interactive Project Based Learning”

GIGA プログラム Summer Camp 2012(1)

- 入試広報および、世界の優秀な高校との連携強化のために、GIGAプログラムSummer Camp2012 (2012年7月31日～8月4日)を開催
- 高校生用プログラムと、高校教員用プログラムを並行して開催



GIGA プログラム Summer Camp 2012(2)

【高校生用プログラム】

- 計21名参加(イギリス、シンガポール、香港、インドネシア、台湾、ロシア、日本等の在住又は国籍者)
- プログラム内容: 大学紹介、研究室見学、インキュベーション施設見学、IT Workshop、在学生との交流、横浜・鎌倉訪問

【高校教員用プログラム】

- 計6名参加(米国・ハワイ、シンガポール、インドネシア・ジャカルタ、台湾・台北、インド・ニューデリー)
- プログラム内容: 大学紹介、研究室見学、インキュベーション施設見学、在学生との交流、鎌倉訪問



高校教員用プログラムの様子 9

GIGA オリエンテーション・キャンプなど 留学生受入のための環境整備

- 入学時に、GIGAプログラム学生向けの英語のガイダンスを実施
- 入学直後にGIGA Program Freshman Orientation Camp(1泊)を開催し、円滑なキャンパスライフのスタートを支援
- GIGAプログラム学生担当のメンター教員を任命し、学業を中心にキャンパスライフに関して指導、助言
- 小林正忠国際奨学金(100万円/年x最長4年間)、メンター三田会国際奨学金(120万円/年x最長4年間)、あきら基金慶應義塾大学SFC国際奨学金(500千円/年x1年)など、GIGAプログラムへの留学生用奨学金を用意。毎年度各1名に対し、奨学金を給付

GIGA ORIENTATION CAMP 2012 SCHEDULE September 28-29, 2012

Fri, Sept 28	
19:00 – 19:45	Dinner
19:45 – 20:00	Introduction of faculty members
20:00 – 20:30	History of Keio and Fukuzawa:
20:30 – 22:00	Ice breaker:
22:00 – 22:30	Shonan life: Senpai (GIGA 1 st batch, Onigiri Project, etc)
Sat, Sept 29	
7:30 – 8:30	Breakfast
9:00 – 10:00	Kenkyukai
10:00 – 10:30	Show Ice breaker results to the Dean
10:30 – 11:00	Dean's talk
11:00 – 12:00	Campus life
12:00 – 13:00	Lunch
13:00 – 14:30	Academic integrity: SFC Open Research Forum 4-year plan:
14:30 – 15:00	Wrap up



- パリ政治学院(Institut d'Etudes Politiques de Paris、通称Sciences Poーシアンスポ)修士課程との英語によるダブル・ディグリー・プログラム
- Sciences Po は、1872年に創設されたフランス屈指のグランゼコールで、数多くの企業家・中央銀行総裁・官僚のほか、世界各国の大統領・首相・閣僚等を輩出、慶應義塾大学とは1987年からの交流実績
- 4月からの半年を慶應で勉強し、その後一年間をSciences Poで、そしてまた慶應で一年間勉強するという、2年半のプログラム
- 経済学の専門知識の獲得のみならず、国際的な視野と経験を兼ね備えていることを内外に証明することができ、大学院修了後のキャリアの選択肢が拡大
- 経済学研究科修士課程に在籍する学生でScience Po派遣生として選抜された学生は、研究科在学期間中の1年間をScience Poで過ごし、特定の科目を履修
- 2012年10月現在 科目数:197



第一期修了生のダブル・ディグリー授与式

SciencesPo – Keio DDプログラム一期生の声

Global 30
Keio University



「科目は一般的な経済学の授業のほかに法律や政治、公共政策に関するものがあります。授業は大教室における授業形式の「カンファレンス」と、「プチクラス」とよばれる、少人数による演習や議論を中心とした形式の二部構成になっております。教員の多くは中央銀行やさまざまな機関で実務に携わっている方で、学校以外からもシンクタンク等からいらしている理論家の方が教えています。私が一番気に入っていたEconomic Policyという授業ではフランス金融庁の先生と経済系シンクタンクの先生が並んで座り、講義をしながらお互いに議論をするというもので、「実務家が理論をどのように用いているか、扱っているか」等面白い発見がたくさんありました。評価は、経済科目は基本的には試験ですが、中にはプレゼンテーション、レポート、もしくはそれらの組み合わせで評価が決まる科目もあります。」

「日本と大きく違うのは、三期制になっていて三期目がインターンになっていることです。これは必須で全員が仕事をみつけ、夏まで仕事をし、それをプロジェクトとしてまとめて指導教員に発表します。クラスメイトは各々政府系のインターンとしてアフリカや諸外国で働いたり、民間会社で自分の学んだことを応用したり、大学で先生のもとで研究したり様々です。私は奨学金の関係でパリにおいて運用会社で数理モデルを開発したり、利用して株やポートフォリオの分析をしたりしています。これにより今まで学んだことを応用したり、また研究題材を発見したりすることもできますし、なにより実務に必要な知識とスキルを身につけることができます。私としては、この経験は実利実学の観点から非常に有益に感じています。」



経済学部への展開

- 経済学研究科との実績により、2012年度からは経済学部とSciencesPoの間でも、英語によるダブル・ディグリー・プログラムが開始
- 学部におけるダブル・ディグリー・プログラムは、日本国内においても例が少ないが、SciencesPoにとっても、コロンビア大学に続き2校目、アジアの大学では慶應義塾大学が初
- 本学からの参加学生は、入学後の半年もしくは1年半を本学日吉キャンパスで学んだあと渡航し、SciencesPoの学生とともに2年間をル・アーヴルで、その後の1年半を本学三田キャンパスで学ぶ。卒業後はSciencesPoの修士課程に進学可能
- 本学の参加学生は、合計4年間または5年間で、またSciencesPoの参加学生は、欧州の学士課程の標準である3年間より半年長い3年半で卒業
- 豊かな国際感覚と幅広い教養、そして経済分野の専門知識を併せもつ次世代リーダーの養成をめざして設置。異文化に身を置き、意識の高い仲間とともに、複数の言語を用いながらの学生生活
- 応募資格：経済学部への入学予定者（1年生秋学期に渡航、4年間で卒業）および、第1学年在籍者（2年生秋学期に渡航、5年間で卒業）

- 国境を越えたグループワーク・交渉・協力のための国際的視野・常識・コミュニケーション能力を養い、法制などの非技術分野の知識素養を身につけ、国際的な事業体の競争の中で実力を発揮できる質の高い創造的なシステムデザイン能力と優れたマネジメント能力を備えた人材を養成
- 特別なコースに所属することなく、英語のみで学位を取得することが可能
- 所属教員の8割以上が海外での教育・研究・業務経験
- システムデザイン・マネジメント学の教授法の開発に関わる国際的な協議会 CESUN(Council of Engineering System UNiversity)の日本から唯一のメンバーであり、国際標準の策定に参加
- 社会人と新卒学生が50%ずつ、理系と文系の学生が50%ずつ、留学生が15%と、多様な学生の存在



SDM研究科：英語による集中講義・特別講義（一部）



System Architecting & Design	Prof. Rashmi Jain (Stevens Institute of Technology, USA)
System Integration	Prof. Rashmi Jain (Stevens Institute of Technology, USA)
Collective Dynamics of Firms	Prof. Dr. Frank Schweitzer (ETH, Switzerland)
New Cooperation between Japan and the U.S	H.E. Ichiro Fujisaki (Japan's Ambassador to the United States)
Reliable Embedded Systems	Niels Malotaux (Project coach, the Netherlands)
Technical Entrepreneurship & Management	Prof. Duncan Moore (University of Rochester, US)
System Engineering and Architecture Framework	Dr. James Martin (Aerospace Corporation, US)
Stanford Center for Design Research Workshops	Dr. Larry Leifer (Stanford University, US)
Business Games - Supply Chain Management in a Nut Shell	Prof. Dr. Paul Schoensleben (ETH, Switzerland)
Object-Process Methodology (OPM) with application to Systems Engineering	Prof. Dov Dori (MIT, US)
Requirements Engineering	Robert Halligan (PPI, Australia)
Predictable Projects? Delivering the Right Result at the Right Time	Niels Malotaux (Project coach, the Netherlands)
Holistic Thinking	Prof. Joseph Kasser (National University of Singapore, Singapore)
Multi-Objective Optimization	Prof. Olivier L. de Weck (MIT/ESD, US)
Industrial Safety Engineering	Prof. Gilles Motet (INSA, France)
Model-Based System Development	Laurent Balmelli, Ph.D. (Watson Laboratory, IBM)



SDM研究科の国際的な取組み

- ① 教材の英訳、英語教材の日本語化の推進
- ② 海外有力大学との協定やダブル・ディグリー・プログラムの推進
- ③ 日本人学生のための「英語特訓クラス」
 - 日本にいながらにして海外で通用する英語力を獲得するためのプログラム
 - 留学準備コースとして、海外の大学院での英語による講義を想定し、ディスカッションやプレゼンテーションも含めた総合的に英語力を強化
- ④ 英語による広報の充実
 - ホームページやニュースレター

ダブル・ディグリー(DD)・プログラムの拡充



経済学部	パリ政治学院(Sciences Po)(フランス)	2012年～
文学研究科	マルティン・ルター・ハレ・ヴィテンベルク大学(ドイツ)	2009年～
経済学研究科	パリ政治学院(Sciences Po)(フランス) CEMS MIM(国際経営学修士)プログラム	2009年～ 2011年～
商学研究科	CEMS MIM(国際経営学修士)プログラム	2011年～
理工学研究科	エコール・サントラル・グループ(フランス) 高等電気学校(フランス) ルンド大学(スウェーデン) ミラノ工科大学(イタリア) スウェーデン王立工科大学(スウェーデン) ミュンヘン工科大学(ドイツ) パリ国立高等鉱業学校(フランス)	2005年～ 2012年～ 2010年～ 2011年～ 2011年～ 2011年～ 2012年～
経営管理研究科	ESSEC(フランス) WHU オットー・バイスハイム経営大学(ドイツ) HEC Paris(フランス)	2010年～ 2009年～ 2012年～
政策・メディア研究科	マルティン・ルター・ハレ・ヴィテンベルク大学(ドイツ) 延世大学(韓国) 復旦大学(中国) インドネシア「リンケージプログラム」(インドネシア)	2009年～ 2005年～ 2005年～ 2006年～
メディアデザイン研究科	CEMS MIM(国際経営学修士)プログラム	2011年～

DDによる交流実績

受入実績	145名
派遣実績	74名
修了者実績	92名

※2012年5月までの実績の総数

※青い文字がG30事業により新たに設置したダブル・ディグリー・プログラム 17

CEMS (the Global Alliance in Management Education)



- ヨーロッパを中心とする世界トップレベルの26のビジネス系高等教育機関、それを支える多国籍企業約70社および4つの非政府組織(NGO)の連合体
- CEMSに参加できるのは世界各国から1校ずつと限られており、日本からは慶應義塾大学のみが参加(2007年12月に準会員として加盟、2010年12月に正会員として加盟)
- 2012年度からCEMS加盟校との学生交換を開始
(春学期受入れ数11人、秋学期受入れ数4人、秋学期派遣数1人)
- 平成23年度より経済学研究科およびメディアデザイン研究科において本学の学位に加え、国際経営学修士の学位(CEMS MIM)を取得できるプログラムを開始



CEMS 一期生の声

“The business project, hosted by one of the CEMS corporate partners; it is really interesting to be able to analyze a working business model and what would and wouldn't work outside of Japan. Another very positive aspect of the project is the fact that the CEMS group is a mixture of students of different nationalities and backgrounds, because this naturally generates a variety of ideas and also gives you the chance to educate yourself on how to communicate with all kinds of people.”



“CEMs student groups (of students on the study term abroad) are normally around 40 people, so they often appoint a social secretary who organizes regular social events. As we were the first group and we were relatively small in number, we didn't have such a system, but students do get together to socialize at least once a week. I made the most of the chances we had to meet people outside of the CEMS group, by searching out opportunities such as welcome events and student language exchanges. The CEMS students also share information about such events on their Facebook page.”



T.I.M.E. (Top Industrial Manager for Europe) Association

- 欧州域内の2つの文化圏で2つの言語を駆使して活躍できるエンジニアの育成を目的として、修士課程におけるダブルディグリープログラムの運用を行う理工系高等教育ネットワークとして1989年に16の大学によって設立
- 現在で欧州内外の55の機関が参加。これまでに欧州全域で2,500名以上の修了生を輩出
- 慶應義塾大学は2005年に開始したエコールサントラルとのダブルディグリーをきっかけとして、2007年に東北大学と並んで日本の大学として初めて加盟



The T.I.M.E. Association

T.I.M.E. と慶應のダブル・ディグリー・プログラム



Austria オーストリア

TUWien

Belgium ベルギー

Faculté Polytechnique de Mons
 Université Catholique de Louvain
 Université Libre de Bruxelles
 Université de Liège
 Vrije Universiteit Brussel

Brazil ブラジル

Universidade de Sao Paulo ☆

China 中華人民共和国

Xi'an Jiaotong University ☆

Czech Republic チェコ

Ceské Vysoké Učení Technické v Praze

Denmark デンマーク

Danmarks Tekniske Universitet

Finland フィンランド

Aalto University

France フランス

EC Marseille ★
EC Paris ★
ENPC
EC Lille ★
EC Lyon ★
EC Nantes ★
 ENSTA
 ENSAE
 SupElec



Germany ドイツ

RWTH-Aachen ★

TU Berlin

TU Darmstadt ★

TU Dresden ☆

TU München ★

U Erlangen-Nürnberg

U Stuttgart

Greece ギリシャ

Aristotle University of Thessaloniki

Ethniko Metsovio Polytechnio Athina

Hungary ハンガリー

Budapest U. Technology and Economics

Italy イタリア

Politecnico di Milano ★

Politecnico di Torino

Università degli Studi di Padova

Università degli Studi di Trento



Japan 日本

Keio University

Tohoku University

Norway ノルウェー

NTNU

Poland ポーランド

AGH University of Science and Technology
 Wroclaw University of Technology

Portugal ポルトガル

Instituto Superior Técnico

Russian Federation ロシア

Bauman Moscow State TU

Moscow State TU

Saint Petersburg State Polytech U.

Tomsk Polytechnic University

Spain スペイン

Universidad Politécnica de Madrid ★

Universidad Politécnica de Valencia

Universidad Pontificia Comillas

Universidad de Sevilla

Universitat Politècnica de Catalunya ☆

Sweden スウェーデン

Kungl. Tekniska Högskolan ★

Lunds Tekniska Högskola ★



Switzerland スイス

ETH Zürich ☆

EPFL

Turkey トルコ

Istanbul Teknik Üniversitesi

※赤い文字が慶應とダブル・ディグリー・プログラムを行っている大学



Keio University

ダブル・ディグリー・プログラム導入の効用



- ① グローバルな視野を持ち世界共通の問題解決へ向けて活動のできる人材の育成
- ② 高等教育の国際的協同事業への積極的な参加
- ③ 学生・教職員に対し経常的にグローバルな感覚を醸成するようなキャンパス環境の整備

英語による授業体制の充実

① 全学的な取り組み

- ・全学の学生向けに開かれた国際センター講座カリキュラムの見直し・拡充
英語設置科目を日本、北東アジアに特化したものとし、ジャンル別に体系化し、外国人留学生の学習ニーズに応えた。

【ジャンル】

- Language & Literature
- Arts
- Culture & Cross-cultural Understanding
- Science
- Religion & Thought
- History
- Media & Communications
- Social Issues
- Politics, Diplomacy & International Exchange
- Business & Economy
- Law

- ・体制整備のため、国際センター所属特任教員の雇用
留学生へより細やかなサービスを提供するため、専属の特任教員を雇用した。

② 各学部・研究科での取り組み

各学部・研究科での語学を除く英語設置科目の増加（現在180以上設置済）



交換留学の拡充

- ① 海外トップクラスの大学約250校と協定を締結
- ② 協定校中、100校以上の大学と通年の学生交換を実施



(2012年5月現在)

グローバル・キャリア・フォーラム

- 交換留学を活性化し、拡充するためには、学生を留学に派遣することの奨励が重要
- 2011年度から「留学フェア」と同時開催。学生が留学を躊躇する大きな要因である就職と留学について、産学で連携して行うフォーラム
- 留学経験を経て就職している卒業生、グローバルに活躍できる人材を求めている企業の人事採用担当者によるパネルディスカッション
- 2011年度、2012年度共に、約100名の参加者



慶應義塾大学短期日本学講座

Keio Short-Term Japanese Studies Program (KJSP)



- Japan Now -

趣旨

- 慶應義塾大学短期日本学講座(KJSP)は、留学生と塾生が寝食を共にしながら学び合う交流型短期留学生受入れプログラム
- これまでは、留学生の受入れは半年もしくは1年。今回、初めて英語による2週間の短期受入を国際センターが実施
- 海外の協定校からも、短期受入れの有無についての問い合わせが多数寄せられている状況であり、そのニーズに対応
- KJSPは、これまでの受入れではターゲットにはなりえなかった海外の学生、また、将来的に長期留学を志す潜在的留学生の確保につなげ、塾生に海外留学生との交流の機会を新たに提供する点で、本学の国際化の拡充に寄与することを期待

慶應義塾大学短期日本学講座

KJSP - Japan Now-



2013年プログラムの概要

- 日本のことについて英語で学習
- 留学生の学力等のバランスに配慮し、海外の交換協定校へ学生募集の案内を通知
- 参加学生は、外国人留学生23名、本学の日本人学生10名。海外からは多くの志願者(約700名)
- 実施期間:2013年1月30日~2月13日
- 今年度は来年度のプログラムの本格実施に向けたパイロット版(授業料無料)

慶應義塾大学短期日本学講座

KJSP - Japan Now-



日程	場所	午前 (930-1130)	午後 (1230-1430)	午後後半(1430-)夕方/夜
1月29日	火	---	Airport Pick-up~宿舎チェックイン	宿舎オリエン
1月30日	水	三田	12:30 ~<325B> オリエンテーション、ウェルカムランチ、キャンパスツアー	(17:00-) ウェルカムパーティー 南校舎4F ザ・カフェテリア
1月31日	木	三田 「日本語」@大学院棟325B 平 明子(日本語・日本文化教育センター非常勤講師) / 村上 絢乃	「日本語」@大学院棟325B 平 明子(日本語・日本文化教育センター非常勤講師) / 村上 絢乃	日本語実地運用
2月 1日	金	三田 (10:00-11:30)「日本の経済」@大学院棟324 柏木 茂雄(商学研究科教授)	(12:30-15:15)「日本の経済」@大学院棟324 柏木 茂雄(商学研究科教授)	(16:00-17:30) 財務省訪問
2月 2日	土	---	Excursion(熱海)(担当:日本語クラブ) 9:00 日吉キャンパス集合、MOA美術館訪問+箱根	
2月 3日	日	---	自由	
2月 4日	月	三田 「日本の国際化の歴史」@大学院棟325B 阿川 尚之(常任理事/総合政策学部教授)	「日本の国際化の歴史」(-14:00)@大学院棟325B 阿川 尚之(常任理事/総合政策学部教授)	(15:00-16:00) 国会議事堂訪問
2月 5日	火	三田 (9:00-11:00)「日本の経営」@南館2B13 三橋 平(商学部教授)	11:45 バス出発(三田キャンパス) 日産追浜工場見学 (13:30-15:00) 工場見学~鎌倉~横浜解散(18:00解散予定)	
2月 6日	水	三田 「日本の食文化」野澤 文二@大学院棟325B (日仏会館フランス事務所フランス国立日本研究センター事務局学術交流担当)	11:30-14:30 <G-Sec4Fセミナー室> 鮫職人実演とプレゼンテーション (昼食:寿司)	(14:30-16:30)「日本の食文化」野澤 文二 @大学院棟325B(日仏会館フランス事務所フランス国立日本研究センター事務局学術交流担当)
2月 7日	木	外部 (美術館) 9:50現地集合10:00-12:30「日本美術」(根津美術館) 白原由起子(根津美術館学芸部課長/国際センター非常勤講師)	「日本美術」(14:00-16:00)サントリー美術館 白原 由起子(根津美術館学芸部課長/国際センター非常勤講師)	
2月 8日	金	日吉 「現代日本文学」@来往舎大会議室 レイサイド, ジェイムス(法学部教授)	「現代日本文学」@来往舎大会議室 レイサイド, ジェイムス(法学部教授)	映画鑑賞 @来往舎シンポジウムスペース
2月 9日	土	---	Excursion(浅草)(担当:日本語クラブ) 9:30三田キャンパス大銀杏集合、綱町(相撲部見学)+皇居+浅草・浅草寺+上野・寛永寺	
2月10日	日	---	自由	
2月11日	月	---	自由(祝日)	
2月12日	火	日吉 「日本のサブカルチャー」@来往舎大会議室 中村 伊知哉(メディアデザイン研究科教授)	「日本のサブカルチャー」@来往舎大会議室 杉浦 一徳(メディアデザイン研究科教授)	秋葉原見学
2月13日	水	日吉 「日本の近代化と福澤諭吉」@来往舎大会議室 梅津 光弘(商学部准教授)	プログラムまとめ、修了式 (-16:45) @来往舎大会議室 植村 良太郎(国際センター特任講師)	(17:00-)フェアウェルパーティー @ファカルティ・ラウンジ
2月14日	木	---	宿舎チェックアウト	

慶應義塾大学短期日本学講座

KJSP - Japan Now-

- 「日本の食文化」講義と
寿司づくり体験
- 「日本の経済」講義と
財務省訪問
- 「日本の国際化の歴史」と
国会議事堂訪問
- 「日本の経営」と
自動車メーカー工場見学
- 「日本のサブカルチャー」
講義と秋葉原見学
- 「日本の美術」講義と
美術館見学



学内の国際化基盤整備

- 学内文書の英語化の推進
 - 翻訳した日英文書を管理するデータベースTradosを導入
 - 2011年に「学内文書英語化プロジェクト」を立ち上げ、各部署で必要な文書等の英文化を推進する体制を強化
- 国際業務に対応し得る職員の養成
 - OJTとして世界各地で実施される留学フェア等に学内の関係部門から職員を派遣
 - 日常的に英語を使用する頻度の高い職員を対象に本学の業務を考慮しカスタマイズした、英語の研修等を実施



「英語化プロジェクト」のメンバー



職員に対する英語研修の様子

国際広報の強化

- 優秀な留学生獲得のための国際広報を強化

1. Keio Global
2. 留学フェア
3. 留学生向け広報媒体の充実



Japan's first door to higher learning has just opened a little wider.

Keio University opened its doors in Tokyo in 1858—just five years after Japan itself was opened to the world. Today, Keio is one of the world's most prestigious universities, renowned for academic excellence and innovative thinking—and for producing generations of distinguished alumni in the highest tiers of business, government and the sciences.

True to its international vision, Keio now offers select all-English degree programs, in addition to its full range of courses in Japanese.

If you are eyeing a global career, don't just follow the leaders. Join them. At Keio.

- Global ICT and Governance (undergraduate)
- Advanced Science and Technology (postgraduate)
- Media and Governance (postgraduate)
- Media Design (postgraduate)
- Sciences Po-Keio Double Degree in Economics (postgraduate)
- System Design and Management (postgraduate)
- Taxation Policy and Management* (postgraduate)

* Admission limited to the Joint Japan/World Bank Scholarship grantees



Keio University
www.global.keio.ac.jp

Find keioglobal on Facebook 

- グローバルに活躍する本学の卒業生や留学生、留学希望者のためのプラットフォームとして、ウェブサイト、データベース、Facebook等による複合的コミュニケーションサイト、「Keio Global」を開設

① ウェブサイト

- 2012/3/16アップ以降、約125カ国・地域からのアクセス(2012/10/5現在)
- 訪問数約16,000

② Facebook

- 2012/3/16アップ以降、約600「いいね！」(2012/10/5現在)

③ データベース

- 2012/3/16アップ以降、約25カ国100名の登録(2012/10/5現在)
- 慶應が海外での留学フェアに参加する際、このデータベースに協力可としている人たちにコンタクトし、通訳やブース対応の手伝いを依頼している。

④ ニュースレター

- 年4回発行(予定)



英国ロンドンにおける留学フェア “Experience Japan Exhibition”

- 2011年度に初めて英国・ロンドンにて、本学主催、ブリティッシュ・カウンシル共催でフェアを開催、2012年度も11月17日(土)に開催
- 英国で行われたこの種のイベントとしては過去最大規模で開催され、約500名の参加者



ロンドンにおける留学フェアの様子

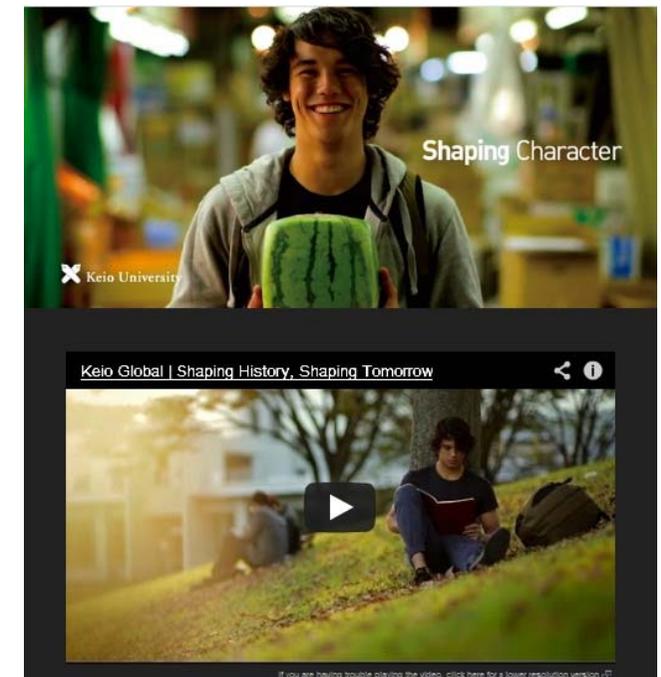
“Experience Japan Exhibition” 参加大学



<p>2012年度 (18大学)</p>	<p>(G30採択大学) 東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、 慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、 同志社大学、立命館大学、筑波大学、大阪大学</p> <p>(G30以外の大学) 国際基督教大学、立教大学、東京理科大学、金沢大学、北海道大学</p>
<p>2011年度 (18大学)</p>	<p>(G30採択大学) 東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、 慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、 同志社大学、立命館大学、筑波大学、大阪大学</p> <p>(G30以外の大学) 国際基督教大学、立教大学、東京工業大学、東京理科大学、北海道大学</p>

留学生向け広報媒体の充実

- 外国人留学生(その両親を含む)の目を意識した広報
- 日本向けと海外向けのデザインやトーン、テイストの違いを意識する(日本語のものを英語に翻訳する、という発想からの脱却)
- できるだけ外国人のクリエイターを起用
 - ① 動画 「Shaping History, Shaping Tomorrow」
 - 特設ページやYouTube、Vimeo等の動画共有サイトに掲載
 - 総合閲覧数が17万回以上(2013年2月現在)
 - ② パンフレット類
 - ③ 広告
 - ④ ウェブサイト



2. G30以外の国際的な取組み

- ① 海外トップクラスの大学における短期研修プログラム
- ② 3キャンパス・プログラム（慶應、延世、香港大学の学生が一緒に3大学を廻る1年間のプログラム）
- ③ リーダーシップ・フォーラム（慶應、立教、延世、復旦大学の学生による合宿形式のフォーラム）
- ④ 経済学部 PCP (Professional Career Program)
- ⑤ Keio SFC Global Campus
- ⑥ 休学中の学費減免



海外トップクラスの大学における短期研修プログラム

- Downing College, University of Cambridge
- Lincoln College, University of Oxford
- Christ Church, University of Oxford
- Exeter College, University of Oxford
- College of William & Mary
- University of Washington
- Notre Dame University
- Yonsei University
- Sciences Po
- その他、学部・研究科独自の単位取得可能な短期プログラム:55
- 例年200名程度を派遣



延世・香港・慶應 3キャンパス合同 東アジア研究プログラム

- 延世大学Underwood International College, 香港大学社会科学部、慶應義塾大学国際センターが協力して実施する交換留学プログラム
- 3大学から選抜された学生が共に1年をかけて日本・韓国・香港の3つの大学を巡り、英語による講義を受講し、また、共に生活をしながら東アジア地域に関する理解を深めることを目的としたプログラム
- 英語でアジアについて学べる(韓国語、中国語授業も履修可能)
- 韓国、香港、日本合わせて約20人の仲間と寝食を共にしながら切磋琢磨し、将来世界で活躍するトップクラスの学生との緊密なネットワーク構築
- 留学期間は春学期半期のみ(秋学期は義塾で勉強)



3 キャンパスプログラム 参加者の声

2010-11年参加者 Kさん

このプログラムは、交換留学の中で最も先進的なプログラムです。三カ国の優秀な学生が一堂に集い、多面的に自分の学問を深めながら密な時間を過ごす。また中韓の学生にとどまらず、世界の異なるバックグラウンドの学生と夢を語り合う。そして気がいたら世界各国に友人が出来、いまだにその交流が続く。今後、僕らの世代で21世紀を切り拓くんだ。そう思わせるのも、このプログラムだからだと思います。アジアを多面的にみたい方、少しでも多くの経験をしたい方。一緒にアジア人としての扉を拓きませんか？

2009-10年参加者 Yさん

「一般留学の「3倍」濃密な経験が待っています」 3つの異なる文化圏から来た学生達が、互いのホームを回りながら1年間を共に過ごす。この全く新しい留学制度で得たトライアングルな世界観、そして優秀なアジアの仲間たちとの友情を超えた人生観の共有は、これからアジアを中心に動く21世紀を生きる上で大きな強みになっていくはずです。留学先に悩んでいるのなら、迷いなくこのプログラムを勧めます。きっと人生が変わります。

2008-09年参加者 Cさん

このプログラムは名前からアジアだけに絞っているように聞こえますが、世界各国からの留学生に囲まれる生活で新たな自己を何度も発見することができました。日本人としての自己、アジア人としての自己、地球に住む一人の人間としての自己。外見は大きく違っても、日常的な悩みは同じだったり、受けた教育から根底から考え方が異なっていたり、(中略)東西文化を360度から見つめ直すことができました。



リーダーシッププログラム

- 毎年、延世大学、復旦大学、立教大学、慶應義塾大学の4大学持ち回りで開催
- 8月中旬～後半の1週間の合同合宿形式
- 近郊への観光なども織り込みながら、日中韓を中心とする東アジア地域の課題についての講義受講や、ディスカッション等を通じて交流を図り、東アジアについての理解を深める、学生主導型で作りに上げるプログラム
- 募集人数 各大学8名



PCP (Professional Career Program)

- 経済学部で平成17(2005)年度から開始
- 経済学部3、4年生が対象
- 将来のキャリア形成に役立つ実践的な経済学教育を、少人数クラスで英語で提供
- 将来のキャリア・パスに合わせた5つの専攻
 - 環境経済 (Environmental Economics)
 - ファイナンス (Finance)
 - 国際経済 (International Economics)
 - 法と経済 (Law and Economics)
 - 日本経済 (Japanese Economy)
- 講義・授業中の質疑応答・試験の他、コーディネーターとの会話、連絡にいたるまですべて英語で実施



Keio SFC Global Campus



- グローバル社会の一員として、知識社会の構築に貢献すべく、大学の知を広く社会に公開していくために、SFCでは2002年より大学の授業を一般公開するKeio SFC Global Campus (SFC-GC)を開始
- SFC(総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科)の教員たちによる、多様な分野にわたる、500以上の授業、5,000以上の講義ビデオを無料で全世界に公開

2012年度秋学期

月曜日

デザインスタジオ
パターニング
デザインスタジオ(自然と建築)【1】
【e-科目 / GC】【院内】ファミリービジネス
【e-科目 / GC】先端研究(ケース・ソッド)
【e-科目 / GC】環境ビジネスデザイン論

火曜日

総合政策学の創造(GIGA)
【履修者】地域戦略研究(東アジア)
安全(防衛政策)
【e-科目 / GC】ベンチャー経営論
環境エネルギー情報論
アジアワークショップ(GIGA)
【e-科目 / GC】【院内】ITと学習環境
【履修者】21世紀の企業の挑戦

水曜日

国際企業論
言語とヒューマニティ

KEIO UNIVERSITY
SFC GLOBAL CAMPUS

About Keio SFC Global Campus

慶應義塾は2008年に150周年を迎えた、日本で最も古い大学です。その5つ目のキャンパスである湘南藤沢キャンパス(SFC)は、2010年に20周年を迎えなければならない新しいキャンパスです。

グローバル社会の一員として、知識社会の構築に貢献すべく、大学の知を広く社会に公開していくために、SFCでは2002年より大学の授業を一般公開するプロジェクトを開始しました。それが、Keio SFC Global Campus (SFC-GC)です。このサイトでは、SFCに学び舎を持つ、総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科の教員たちによる、多様な分野にわたる、約500以上の授業、5,000以上の講義ビデオを無料で公開しています。

Course Videos and Materials

2010年度以降のSFC-GCのビデオを視聴するには Flash Player が必要です。2009年度までのビデオを視聴するには Real Player が必要です。いずれも無料版を入手することができます。詳しくは提供先のウェブサイトをご覧ください。

Get ADOBE FLASH* PLAYER

SFC の学生へ

履修者は、SFC-SFS より授業ビデオ・授業資料にアクセスしてください。また補講ビデオも SFC-SFS よりアクセス可能となっています。
履修していない授業のビデオや資料は本サイトからご覧ください。

はじめての方へ

About Keio SFC Global Campus
受講者登録

SFC学生・教員の方へ

院内限定コンテンツ
★補講ビデオはSFC-SFSから
ファカルティページ

e-科目等履修生の方へ

e-科目等履修生
ログイン

募集要項(2012年度秋)

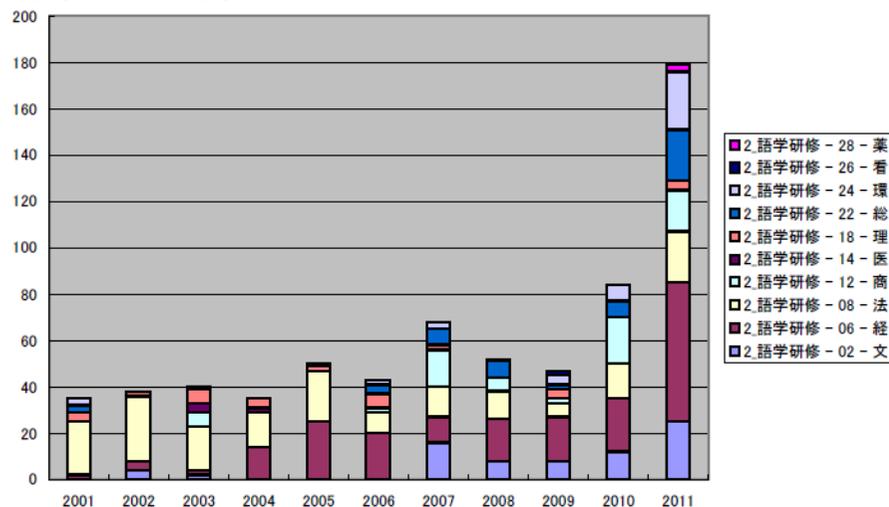
リンク

慶應義塾大学SFC
SFC研究所
KEIO SFC on iTunesU
教員プロフィール
SFC-SFS
講義案内
過去の講義

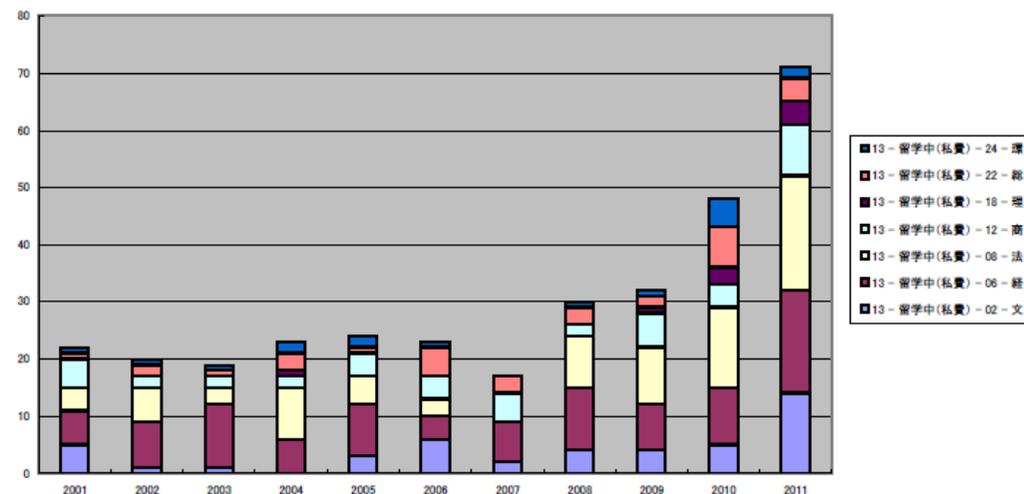
休学中の学費減免

- 2009年度より、「休学」扱いで留学する場合の学費を減免することとした。
 - 「留学」: 交換協定に基づく留学、あるいは、学部で認められた私費留学も一部含む
 - 「休学」扱いでの留学: 語学研修、上記以外の私費留学
- この措置により、私費留学、語学研修共に急増

休学による語学研修統計



私費留学統計



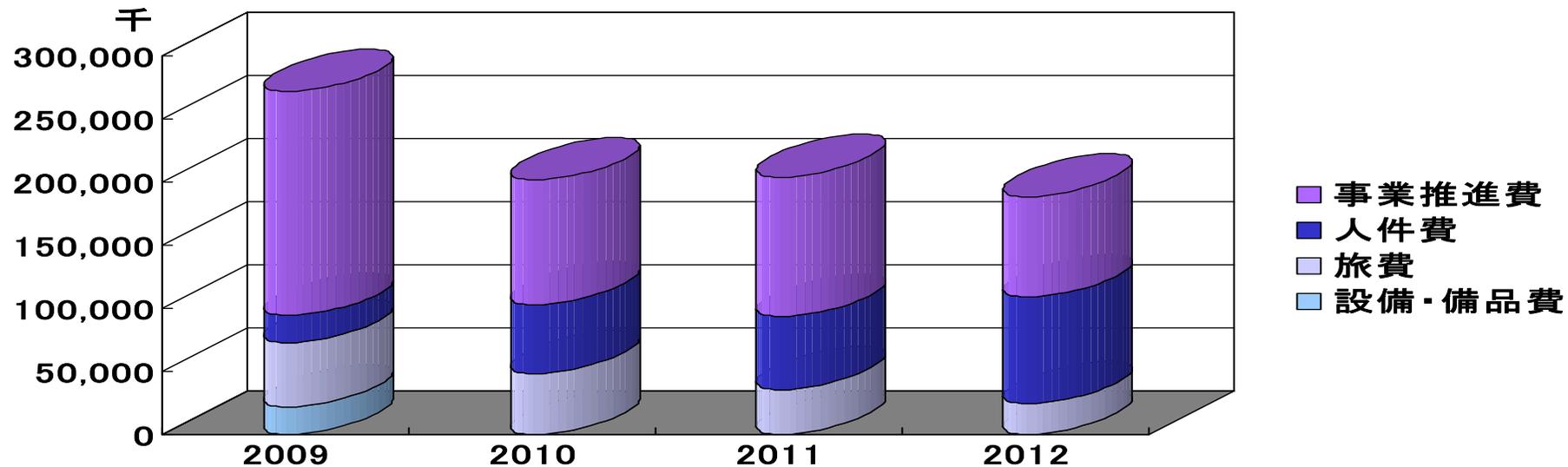
3. 今後の課題と展望

- G30で新規開設した英語コースの他、これまで経常的に行ってきた国際プログラムの維持、拡充
- 新たにより効果的なプログラム(オナーズ・プログラム、プレ・ポスト留学プログラム)の開発
- 2011年度、2012年度に採択された世界展開力強化事業の3事業を推進し、国際プログラムの充実
 - グローバルエンジニア育成のための欧州理工系大学との連携プログラムの構築(理工学部)
 - グローバルイノベーションデザイン・プログラム(KMD)
 - アジアの新出課題解決に向けたエビデンスベースドアプローチ大学コンソーシアム (SFC他)
- 未来創造塾
 - 国際化の一環として、全人教育を実践するための「人間(じんかん)交際」の場として、塾生(日本人学生、留学生)と教員が寝食をともにし学ぶレジデンシャル・エデュケーションの場を提供し、併せて、滞在型教育プログラムの実践を計画
 - すでに2009年度から滞在型教育プログラムとハウス制度を試験的にスタート



未来創造塾(イメージ図)

4. 経費の使用状況 — 予算額の推移と使用実績

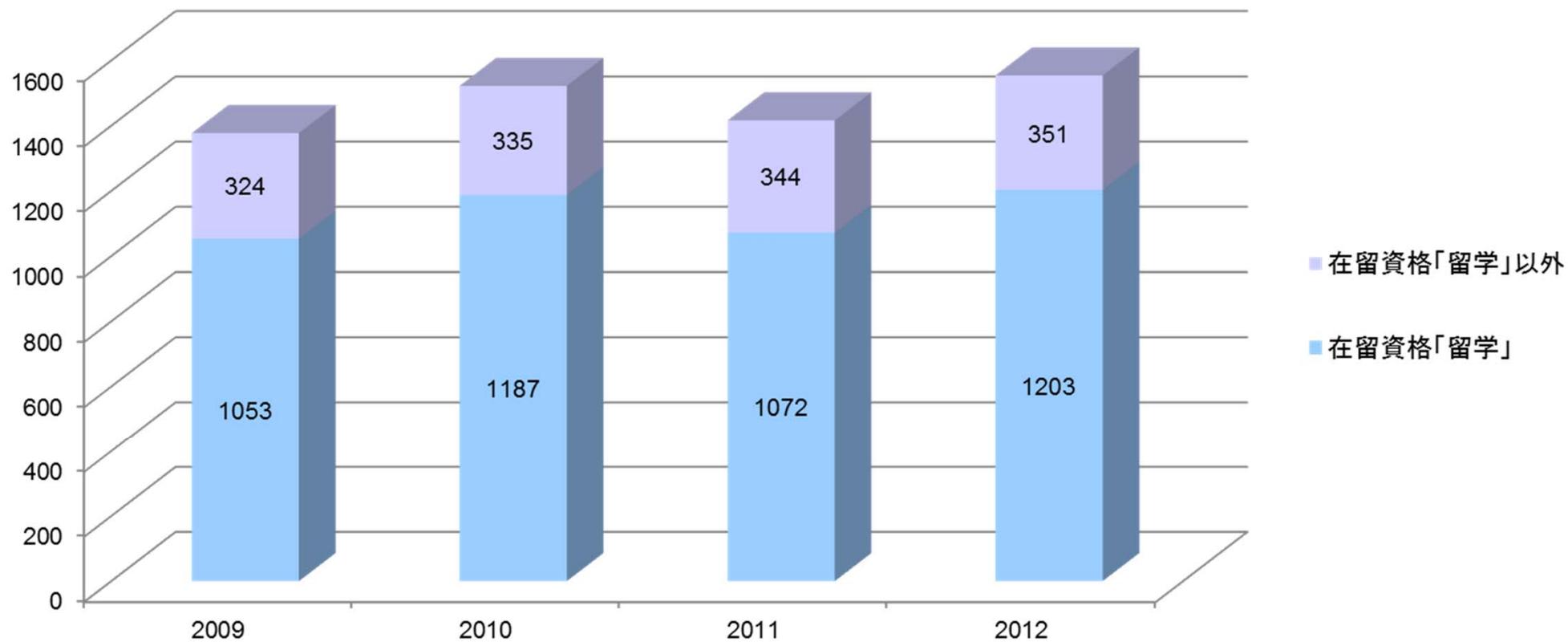


注) 2009~2011年度は実績。2012は計画予算。

- 毎年度、補助金の適正な執行を図るため、事業実施部門の他、事業全体を統括する国際連携推進室の他、経理・管財・人事などの各部門で何重ものチェックを実施

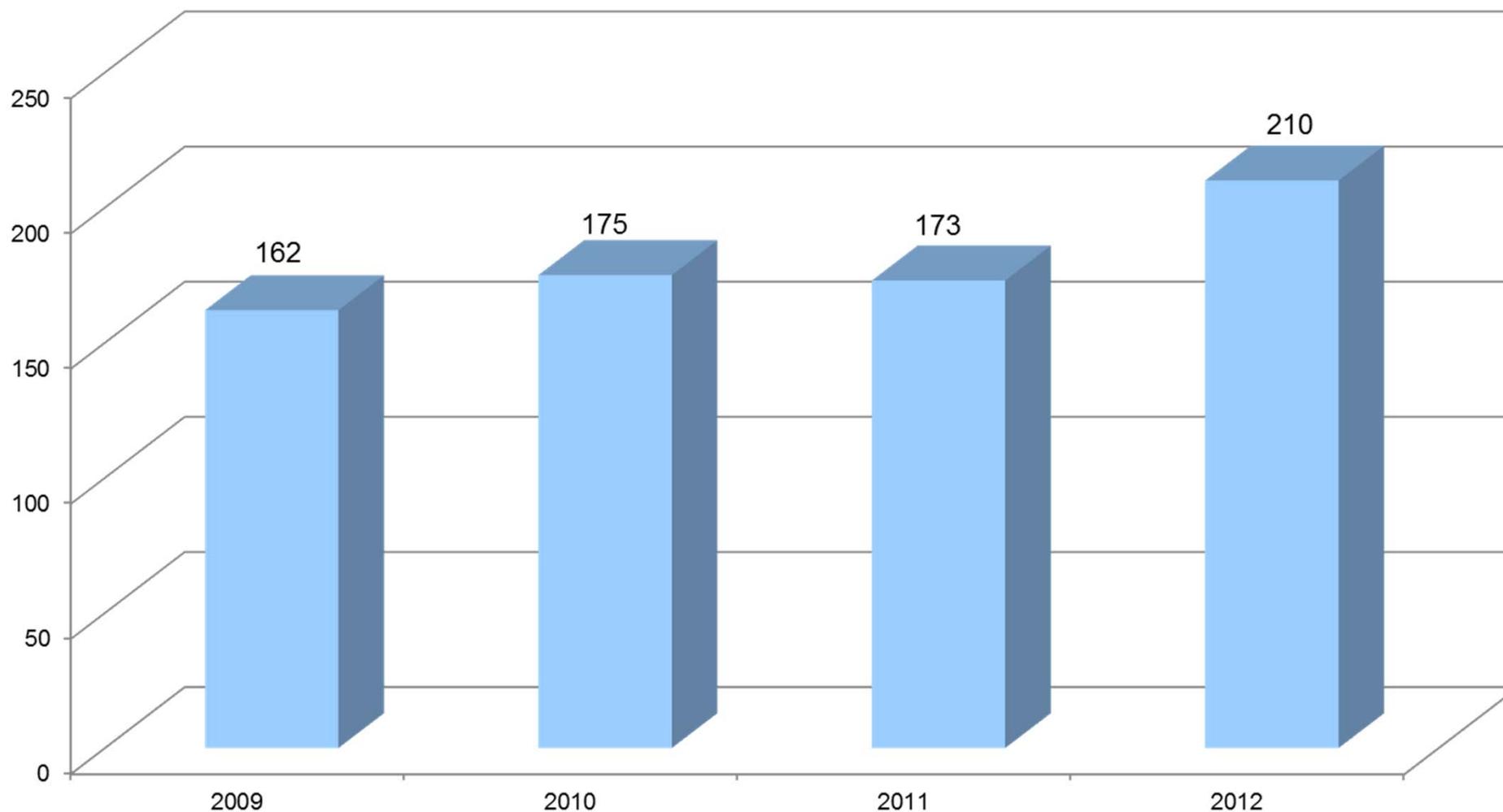
5. データ編：慶應義塾の国際化の状況

留学生数(受入)



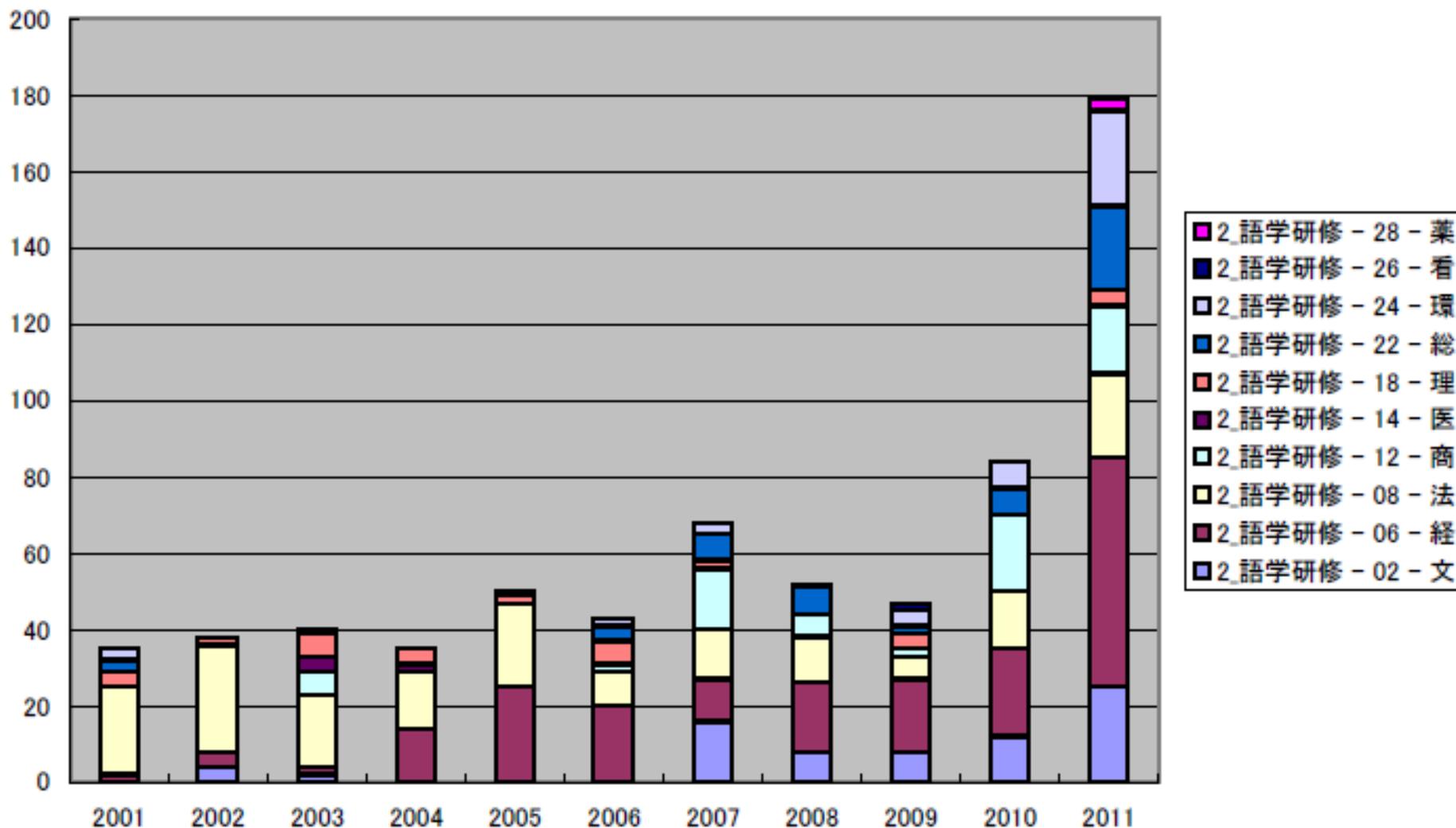
※各年度、5/1在籍者を計上

留学生数(派遣)

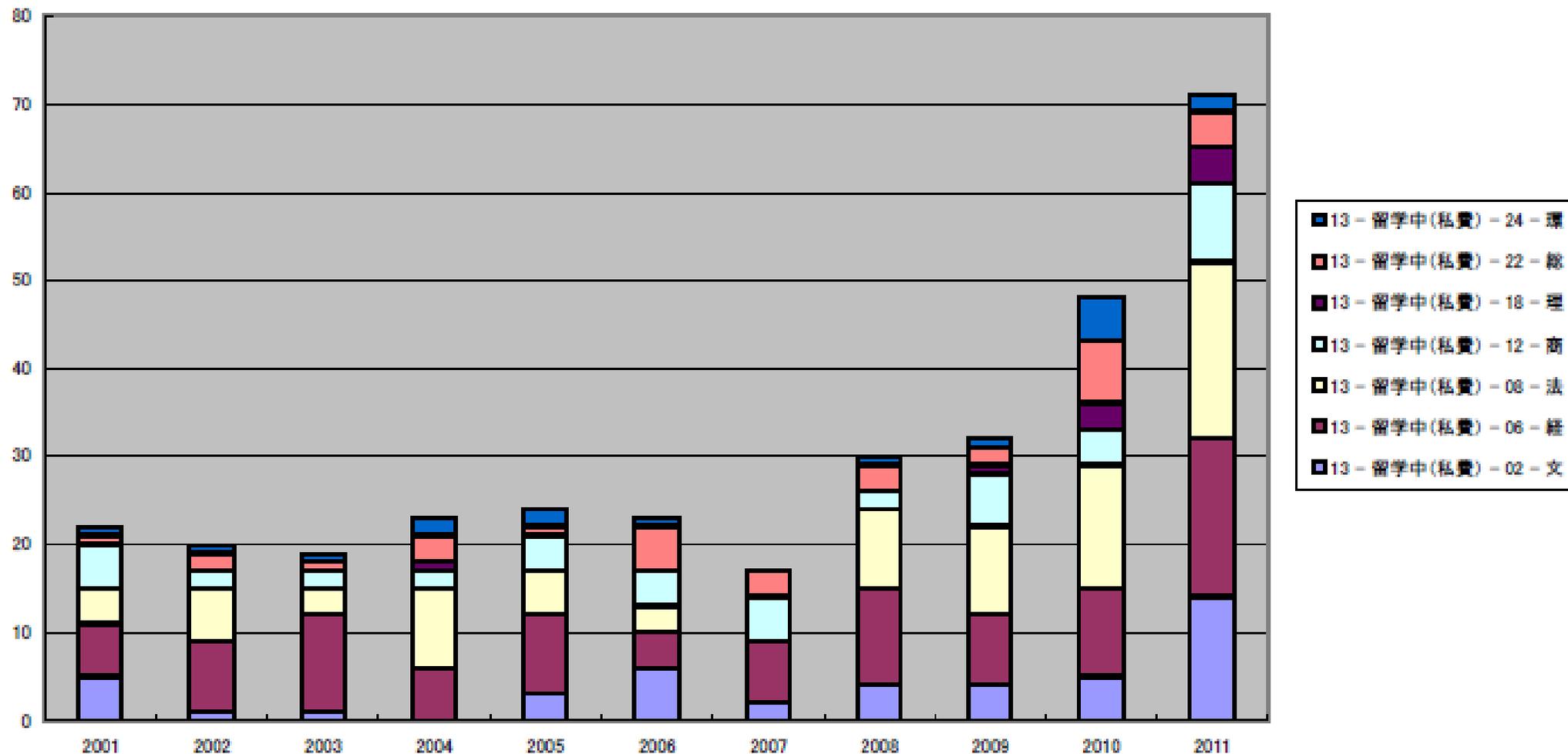


※交換留学、私費留学両方を含む

休学による語学研修

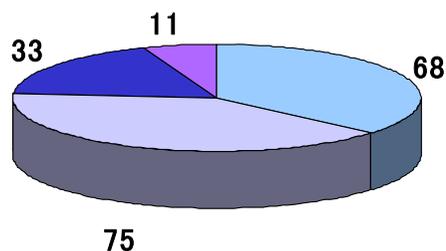


私費留学



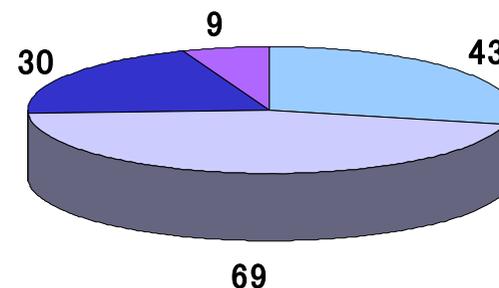
大学間交流協定数

大学間



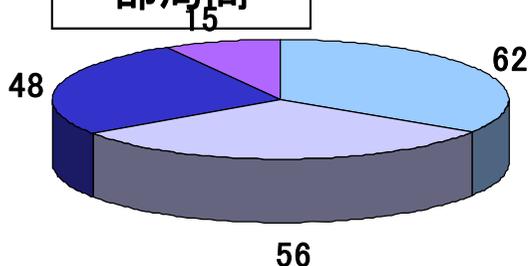
May/2008

- Asia
- Europe
- North America
- Other



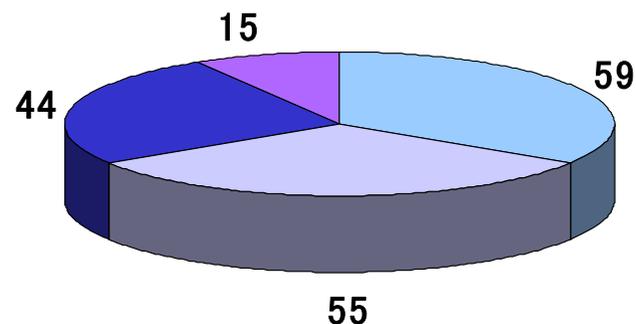
May/2012

部局間



May/2008

- Asia
- Europe
- North America
- Other

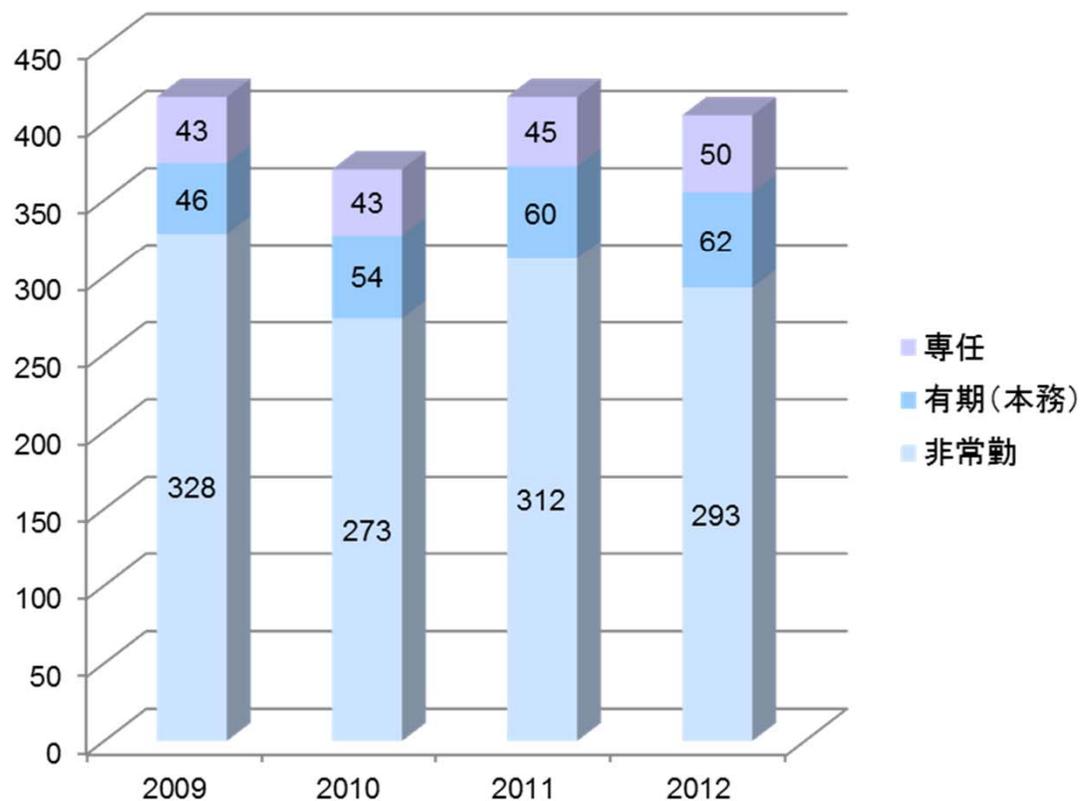


May/2012

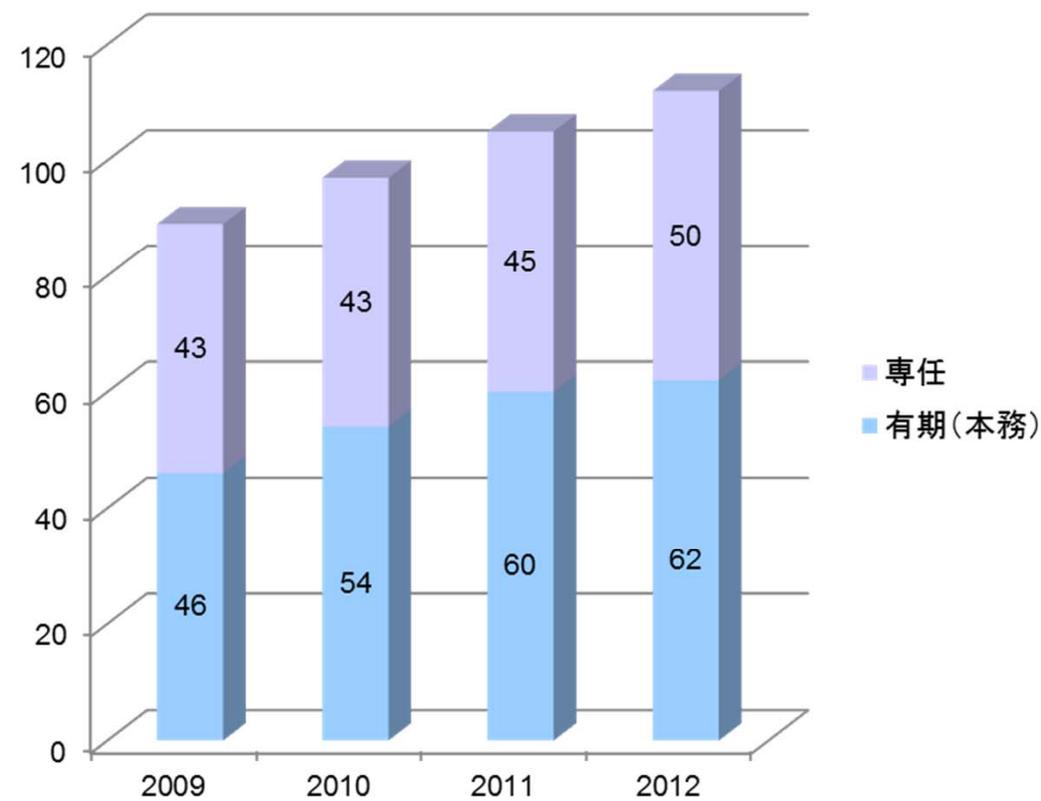
※2001年度に87だった協定がこの10年ほどで急増。ここ数年で、それらを精査し、実質的な交流へ(交流の質の向上)

外国人教員数

全外国人教員数



外国人教員数(専任、有期教員のみ)



※各年度、5/1在籍者を計上

G30による英語コースの学生確保の状況

2012/10 現在、単位：人

コース名	学部名	開設時期	学位	募集者数	入学者数	在籍者数
Global Information and Communication Technology and Governance Academic (GIGA) Program	環境情報学部	2011/09	B	15	2011年9月 入学入試 9(4) 2012年9月 入学入試 9(4)	18(8)
Keio-Sciences Po Double Master's Degree in Economics Programme	経済学研究科	2009/4	M	10/年 (慶應5、 Sciences Po 5)	11 (累積)	4
System Design and Management Course	システムデザイン・マネジメント研究科	2010/09	M	コースとして定員を定めず (修士課程全募集数77)	2012年9月入学者 6(0) 括弧内は日本人内数	2012年9月22日現在在籍者 12(1) 括弧内は日本人内数